

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 5 月 8 日現在

機関番号：12601

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2015～2019

課題番号：15K17072

研究課題名（和文）人口減少下の労働移動・労働力の部門間再分配についての実証研究

研究課題名（英文）Empirical study on labor mobility under shrinking population

研究代表者

近藤 絢子 (Kondo, Ayako)

東京大学・社会科学研究所・准教授

研究者番号：20551055

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：東日本大震災によるサプライチェーンの寸断が被災地以外の地域でもたらした影響を検証し、サプライチェーンの寸断は短期的に労働移動を増やしたものの、長期的には就業率や雇用形態に影響しない可能性が高いという結果を得た。高齢者雇用促進政策の影響分析として、高齢者雇用促進政策はかならずしも若年層の雇用をダイレクトに減らすものではないこと、高年齢者雇用安定法の改正が60歳代の雇用を特に大企業において増加させたことを明らかにした。介護施設の供給が中高年の労働供給に対して統計的に有意な影響がないことと、介護報酬の変更が介護産業の雇用や賃金に与える影響は小さいことを示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

高齢者の雇用促進政策は若年層に与える影響が限定的であることから、総合的には労働力の活用につながることも、介護施設の整備は必ずしもすぐに労働供給の増加につながることも、介護報酬の調整だけでは介護産業の人手不足は解決できそうにないこと、など、人口減少下での労働力活用に役立つ知見を提供した。また、世界全体でみれば、労働移動についての実証研究は膨大な蓄積がなされているが、日本のように労働力人口が減少しつつある国というのは今のところまだ多くないため、人口減少下での労働移動についての知見を得るという点で、国際的に見ても大きな貢献ができたと考えている。

研究成果の概要（英文）：I found that supply chain disruptions caused by the Great East Japan Earthquake increased labor mobility in the short run, but it did not affect employment in the long run. As the evaluation of policies to promote elderly employment, I showed that such policies did not hurt youth employment much, while they actually increased employment of old men in large companies. The increased supply of formal long term care is found to have no effect on labor supply of middle-aged men or women, and the changes in LTCL reimbursement did not affect employment and wages in the long-term care industry.

研究分野：労働経済学

キーワード：労働移動 高齢者雇用 東日本大震災 介護 労働需要 労働供給 高齢化 人口減少

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

## 1. 研究開始当初の背景

労働力人口の減少が進行する中で、効率的な労働移動を実現することは喫緊の政策課題であるが、我が国における労働移動についての研究の蓄積は必ずしも十分ではない。研究代表者は、本研究課題より前に、マクロ的な視点から産業間労働移動の動向を分析し、転職者は必ずしも衰退産業から成長産業へ流れているわけではなく、要求される職務が大きく異なるような産業への移動確率は転職者の属性によって大きく変わることを明らかにした。本研究課題ではよりミクロ的な視点に立ち、外生的ショックの影響の属性間の差、高齢化対策政策の若年層への影響、非労働力から労働力への移動、の3点に着目することとした。

に関しては、東日本大震災によりサプライチェーンが寸断されたことの影響が、都道府県間・産業間で異なることを利用し、短期的なショックの影響が労働者の属性によってどう異なるかを明らかにしようとした。我が国において短期的なショックに対する産業間・地域間の調整について分析した先行研究はほとんどなく、東日本大震災の分析は貴重な貢献になると考えた。

に関しては、一般に若年層は労働移動が多く、また若年期の円滑な労働移動はその後のキャリア形成に重要な役割を果たすことが知られている一方で、日本においては高齢者の雇用を促進する政策が若年の雇用機会を奪っているという批判がなされていた。そこで、高年齢者雇用安定法の改正による高齢者の継続雇用の義務化が、雇用の流動性を阻害する副作用をもたらしたか否かを、特に若年層に着目して検証しようとした。

については、生産可能年齢における非労働力の大きなシェアの占める既婚女性の労働供給については膨大な研究蓄積があるものの、その多くは税制や賃金の変化に対する弾力性を見るもので、就業を阻害する非金銭的な要因を取り除く政策の効果についての実証分析は、我が国ではまだ十分に進んでいなかった。特に介護支援についての信頼できる実証研究は私の知る限りほとんどなかったため、介護支援の影響分析に着目することにした。

## 2. 研究の目的

人口減少が見込まれる中で、部門間の労働力の効率的な分配を阻んでいる要素を明らかにする。具体的にはまず、外生的なショックに部門間移動で対応しづらいのは誰か、東日本大震災による影響が地域・産業ごとに異なることを需要ショックとして利用し、年齢・性・学歴等属性別の影響の違いを識別する。続いて、特に労働移動の多い高齢化対策の政策が若年層の流動性に与えた影響の分析や、介護に対する支援が非労働力から人手不足の部門への労働移動をどの程度促すかなどを検証する。

また、介護についての研究から派生して、介護報酬の変化が介護産業の雇用や賃金に与える影響の検証も研究目的に追加した。

## 3. 研究の方法

### 東日本大震災による震災ショックが引き起こした労働移動の分析

津波浸水地域と原発の避難区域にある事業所の生産活動が完全にストップしたと仮定して、被災地からの中間投入財の移入が生産量の減少分だけ減り、その分を補充できずほかの財でも代替できなかったとした場合の生産量の減少率を、都道府県間産業連関表(三菱総研作成)を用

いて計算した。これを、就業構造基本調査や労働力調査などの個票データと接合することで、東日本大震災による需要ショックが引き起こした労働移動を分析した。

#### 高齢者雇用促進政策が若年層に与えた影響の分析

2006年の高齢者雇用安定法改正によって、企業は既存の従業員に65歳まで雇用機会を提供することを義務づけられた。ここで重要なのは、各企業への影響は、2000年代前半に抱えていた50代後半の従業員ストックによって異なる点である。これを利用し、高齢者雇用促進政策が若年層に与えた影響を分析した。

具体的には、雇用動向調査から事業所レベルのパネルデータを構築し、2000年代前半に50代後半の従業員が多かった企業をトリートメントグループ、少なかった企業をコントロールグループとして、その企業の採用活動や、離職率等の動向をDifferences in Differencesモデルを用いて分析した。

#### 介護に対する支援と非労働力の就業への移動の分析

介護サービス施設・事業所調査を用いて介護サービスの提供状況についての市町村レベルのパネルデータを構築し、就業構造基本調査等、個人レベルのデータと居住地の市町村を用いて接合し、個人の就業率や雇用形態等と、地域の介護サービスの提供状況の関連を検証する。

#### 介護報酬の変化が介護産業の雇用や賃金に与える影響の検証

高齢化にともない介護労働力不足が懸念されるなか、介護報酬の変更が介護職員の雇用や賃金にどのように影響するのかを検証するため、2012年の地域手当の変更を自然実験として利用する。用いるデータは、介護サービス施設・事業所調査より構築した事業所レベルのパネルデータと、賃金構造基本調査の介護産業従事者の個票で、地域手当の変化の異なる市町村同士を2012年前後で比較するDifferences in Differencesモデルによる。

## 4. 研究成果

#### 東日本大震災による需要ショックが引き起こした労働移動の分析

東日本大震災によるサプライチェーンの寸断が被災地以外の地域でもたらした影響を検証し、サプライチェーンの寸断は短期的に労働移動を増やしたものの、長期的には影響を受けた労働者の就業確率や雇用形態に影響しない可能性が高いという結果を得た。具体的には、震災によって被災地以外の労働移動は短期的には若干増え、都道府県間の移動も増えたが、失業等への影響は限定的であった。また、災害の影響について分析する際に自己申告のデータを用いると、影響を過大評価する可能性があることもわかった。成果は国際査読誌 *Japan and the World Economy* にて公表した。

#### 高齢者雇用促進政策が若年層に与えた影響の分析

高齢者雇用促進政策はかならずしも若年層の雇用をダイレクトに減らすものではないという結果を得、国際査読誌 *IZA Journal of Labor Policy* にて公表した。また高齢者雇用安定法の改正が60歳代の雇用を特に大企業において増加させたという論文を国際査読誌 *Industrial and Labor Relations Review* にて公表した。

#### 介護に対する支援と非労働力の就業への移動の分析

介護施設の供給が中高年の労働供給に与える影響を検証し、男女を問わず統計的に有意な影響がないという結果を国際査読誌 Asian Economic Policy Review にて公表した。

#### 介護報酬の変化が介護産業の雇用や賃金に与える影響の検証

主な結果は、介護報酬の改定は必ずしも介護労働者の賃金や雇用に直接的な影響を及ぼさないこと、所定内給与は介護報酬の改定に反応しないもののボーナスは介護報酬の改定から 1 年の遅れをもって反応するということ、1 年のラグを持ってボーナスは増えるもののそれが雇用の増加には結びついていないこと、の 3 点である。国際査読誌 Journal of the Japanese and International Economies にて公表した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 3件）

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名<br>Kondo Ayako   | 4. 巻<br>53                    |
| 2. 論文標題<br>Impact of increased long-term care insurance payments on employment and wages in formal long-term care                   | 5. 発行年<br>2019年               |
| 3. 雑誌名<br>Journal of the Japanese and International Economies   | 6. 最初と最後の頁<br>101034 ~ 101034 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.jjie.2019.101034  | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                     |
| 1. 著者名<br>Kondo Ayako, Shoji Masahiro   | 4. 巻<br>113                   |
| 2. 論文標題<br>Peer effects in employment status: Evidence from housing lotteries   | 5. 発行年<br>2019年               |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Urban Economics  | 6. 最初と最後の頁<br>103195 ~ 103195 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.jue.2019.103195   | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                     |
| 1. 著者名<br>Kawaguchi Daiji, Kondo Ayako  | 4. 巻<br>58                    |
| 2. 論文標題<br>THE EFFECTS OF GRADUATING FROM COLLEGE DURING A RECESSION ON LIVING STANDARDS  | 5. 発行年<br>2019年               |
| 3. 雑誌名<br>Economic Inquiry  | 6. 最初と最後の頁<br>283 ~ 293       |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1111/ecin.12835  | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                     |
| 1. 著者名<br>Kondo Ayako   | 4. 巻<br>47                    |
| 2. 論文標題<br>The effects of supply chain disruptions caused by the Great East Japan Earthquake on workers                             | 5. 発行年<br>2018年               |
| 3. 雑誌名<br>Japan and the World Economy   | 6. 最初と最後の頁<br>40 ~ 50         |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br><a href="https://doi.org/10.1016/j.japwor.2018.03.007">https://doi.org/10.1016/j.japwor.2018.03.007</a> | 査読の有無<br>有                    |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-                     |

|   |                           |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名<br>Kondo Ayako, Shigeoka Hitoshi   | 4. 巻<br>70                |
| 2. 論文標題<br>The Effectiveness of Demand-Side Government Intervention to Promote Elderly Employment:<br>Evidence from Japan   | 5. 発行年<br>2017年           |
| 3. 雑誌名<br>Industrial and Labor Relations Review   | 6. 最初と最後の頁<br>1008 ~ 1036 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br><a href="https://doi.org/10.1177/0019793916676490">https://doi.org/10.1177/0019793916676490</a> | 査読の有無<br>有                |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する              |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>KONDO Ayako   | 4. 巻<br>20              |
| 2. 論文標題<br>Does Promoting Elderly Employment Hurt Young Japanese Workers?   | 5. 発行年<br>2017年         |
| 3. 雑誌名<br>Social Science Japan Journal  | 6. 最初と最後の頁<br>279 ~ 285 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br><a href="https://doi.org/10.1093/ssjj/jyx022">https://doi.org/10.1093/ssjj/jyx022</a> | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-               |

|  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 著者名<br>Daiji Kawaguchi, Ayako Kondo and Keiji Saito         | 4. 巻<br>109              |
| 2. 論文標題<br>Researchers' career transitions over the life cycle | 5. 発行年<br>2016年          |
| 3. 雑誌名<br>Scientometrics                                       | 6. 最初と最後の頁<br>1435, 1454 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s11192-016-2131-y          | 査読の有無<br>有               |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                         | 国際共著<br>-                |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Ayako Kondo   | 4. 巻<br>12(1)         |
| 2. 論文標題<br>Availability of Long-term Care Facilities and Middle-aged People's Labor Supply in Japan | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>Asian Economic Policy Review  | 6. 最初と最後の頁<br>95, 112 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1111/aepr.12163  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>Ayako Kondo   | 4. 巻<br>5          |
| 2. 論文標題<br>Effects of increased elderly employment on other workers' employment and elderly's earnings in Japan | 5. 発行年<br>2016年    |
| 3. 雑誌名<br>IZA Journal of Labor Policy   | 6. 最初と最後の頁<br>1-23 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1186/s40173-016-0063-z   | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)   | 国際共著<br>-          |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>Ayako Kondo  | 4. 巻<br>4          |
| 2. 論文標題<br>Differential Effects of Graduating during Recessions across Gender and Race | 5. 発行年<br>2015年    |
| 3. 雑誌名<br>IZA Journal of Labor Economics   | 6. 最初と最後の頁<br>1-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1186/s40172-015-0040-6                                  | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-          |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Ayako Kondo and Saori Naganuma                       | 4. 巻<br>38            |
| 2. 論文標題<br>Inter-industry labor reallocation and task distance | 5. 発行年<br>2015年       |
| 3. 雑誌名<br>Journal of the Japanese and International Economies  | 6. 最初と最後の頁<br>127-147 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1016/j.jjie.2015.08.001         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                          | 国際共著<br>-             |

[学会発表] 計6件(うち招待講演 0件/うち国際学会 4件)

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo  |
| 2. 発表標題<br>The effects of supply chain disruptions caused by the Great East Japan Earthquake on workers |
| 3. 学会等名<br>Econometric Society Asian Meeting (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo   |
| 2. 発表標題<br>The effect of raising Long-term Care Insurance payments on employment and wages in nursing industry |
| 3. 学会等名<br>日本經濟学会  |
| 4. 発表年<br>2017年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo   |
| 2. 発表標題<br>Peer Effects in Employment Status: Evidence from Housing Lotteries for Forced Evacuees in Fukushima |
| 3. 学会等名<br>Society of Labor Economists ( 国際学会 )  |
| 4. 発表年<br>2016年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo   |
| 2. 発表標題<br>Peer Effects in Employment Status: Evidence from Housing Lotteries for Forced Evacuees in Fukushima |
| 3. 学会等名<br>European Society for Population Economics ( 国際学会 )  |
| 4. 発表年<br>2016年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo  |
| 2. 発表標題<br>Differential Effects of Graduating during a Recession across Gender and Race |
| 3. 学会等名<br>Society of Labor Economists ( 国際学会 )   |
| 4. 発表年<br>2015年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ayako Kondo   |
| 2. 発表標題<br>Peer Effects in Employment Status: Evidence from Housing Lotteries for Forced Evacuees in Fukushima |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会秋季大会  |
| 4. 発表年<br>2015年  |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|  | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号) | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|--|---------------------------|-----------------------|----|
|--|---------------------------|-----------------------|----|